

5 統計資料

(1) 設問別正答率 (%) (過去との比較)

【表2】は、抽出答案による設問別正答率を年度ごとにまとめたものである。本年度より、設問【1】について、短い英文から、会話文の中で発音や文強勢を問う形式へ変更した。また、設問【8】について、まとまった会話に関する設問（5問）から、短い三つの会話文に関する設問（各1問）と、まとまった会話に関する設問（2問）という形式へ変更した。年度により出題内容や難易度が異なるため、単純な数値の比較は困難であるが、本年度は、設問【3】【4】の正答率が高く、本年度から出題形式を変更した、設問【1】【8】の正答率が、昨年度と比較してかなり低いことが分かる。

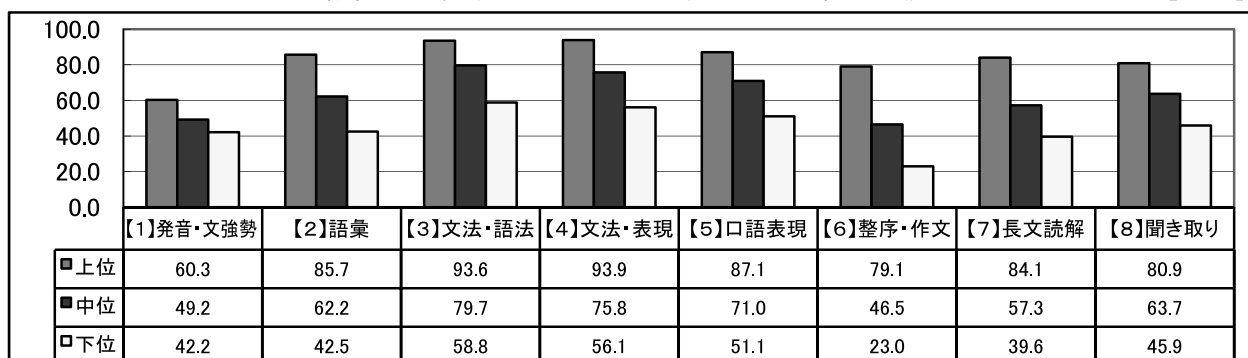
設問別正答率 (%) の推移 (過去との比較) [表2]

年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
抽出人数	3,158	3,284	3,227	3,204	3,265	3,252	3,207	3,177	2,953
全設問	60.8	61.7	61.1	57.0	51.2	65.5	59.9	61.9	62.6
【1】発音・文強勢	48.5	65.4	45.2	66.6	46.9	59.8	64.3	64.5	50.3
【2】語彙	54.0	46.4	50.6	41.2	47.9	49.6	35.5	64.5	62.7
【3】文法・語法	67.2	68.8	79.0	67.0	55.7	63.9	56.0	74.3	76.7
【4】文法・表現	66.8	47.9	53.3	40.3	42.9	71.4	59.8	70.1	74.6
【5】口語表現	76.7	70.7	74.4	73.5	45.8	83.9	65.7	55.2	69.1
【6】整序・作文	56.3	65.7	55.6	55.2	55.2	60.9	66.3	40.0	48.6
【7】長文読解	62.3	61.8	63.7	52.7	51.2	60.5	63.3	61.6	59.6
【8】聞き取り	50.6	60.0	70.7	75.1	59.1	75.5	60.4	72.5	62.9

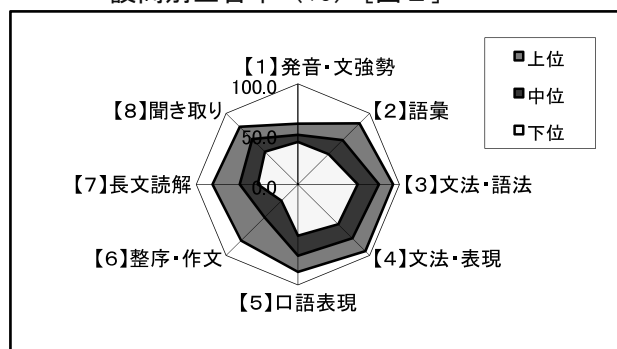
(2) 平成30年度設問別正答率 (上位・中位・下位層の比較)

【図1】は、全調査校138校(学科・コース)から抽出した2,953名中の学校平均点上位29校(偏差値55以上)に所属する937名(上位層)、学校平均点中位47校(偏差値45以上55未満)に所属する978名(中位層)及び学校平均点下位62校(偏差値45未満)に所属する1,038名(下位層)の設問別正答率をグラフにしたものである。

設問別正答率 (%) (上位・中位・下位層の比較) [図1]



設問別正答率 (%) [図2]



【図2】は、【図1】をレーダーチャートにしたものである。設問別に各層の正答率を比較すると、【6】整序・作文で各層の正答率の差が大きく、特に中・下位層で、表現力に課題があることが分かる。一方、【3】文法・語法、【4】文法・表現で、各層の正答率が高く、文法の知識を活用する力は比較的身に付いていると言える。